

日本社会医学会の学会員の皆様へ

第 62 回日本社会医学会総会は、例年よりも遅くなりますが、2021 年 11 月 20 日（土）～21 日（日）に Web 開催いたします。この頃には、コロナパンデミックが収束し、コロナ後の社会システムの再構築や生活再建が動き出すと予測し、メインテーマは「**コロナ禍とその後の生活を支える看護と社会医学**」としました。

「すべての人々を健康に」を目標とする社会医学が対象とする領域は、国民の生活全般に及びます。コロナ禍で生じている課題に向き合い、コロナ後の生活をどう支えていくかを、現場の実態を通じて社会医学、看護の視点から議論していきたいと思っております。各シンポジウムには保健師を中心に看護職がシンポジストに入っています。

プログラムの特別講演では、コロナ最前線から見える現状と今後の課題としました。

4 つのシンポジウムでは、第一線で活躍されている方々、第一人者の方々をシンポジストにお迎えし、

- ① コロナによる健康格差の拡大
- ② 働く人々への健康支援
- ③ ライフスタイルの変化と子どもの健康
- ④ コロナ禍とその後の保健医療体制 などを企画しています。

若手研究者や現場で研究活動をしている方々向けに、編集委員会企画として、

- ① 量的研究
- ② 混合研究法のアクションリサーチ を企画しています。

一般演題は示説ですが、オンラインでの討論時間を設定しています。経験や知見を討議し、研究を向上させる切磋琢磨の機会になることを願っています。

参加申込・演題登録期間は、**2021 年は 7 月 1 日（金）から 10 月 15 日（金）**です。オンライン開催になりますが、多くの参加申込、演題登録をお待ちしています。

本総会が、コロナ禍で起きたことを総括し、未来を見据える立ち位置を定める一助になり、そして、コロナ禍を乗り越えて、次につなぐ総会になることを願っています。

詳しくは、第 62 回日本社会医学会総会 (<https://jssm62.jp>) のホームページをご参照ください。

2021 年 6 月

第 62 回日本社会医学会総会
大会長 波川 京子（川崎医療福祉大学）